

世の中がますますおかしくなってきた。ある人の言葉を借りれば、トマトでクズの人物たちが世界や日本の政(まつりごと)を牛耳っている。さらに破滅に導こうとしている。彼らをそうさせているのが我々「民」だとしたら、人はなんと情けない生き物であることか。

昨年でいちばん辛かったことは、かけがえのない仕事仲間が亡くなったことだ。彼とは40年以上、一緒に同じ業界を生き抜いてきた。ありふれた言葉だけれど「苦楽」を共にしてきた。彼の死を1か月後の訃報の葉書で知るとは情けない。

AJECの理事長稼業も5年になる。コロナ禍の中、忘年会は3年ぶりに何とかリアルで開催できたが、ほとんどのイベントや活動はオンラインで行ってきた。若返り・IT化・組織拡大の3つをテーマに、与えられたミッションを私なりにこなしてきたつもりだが、残りあと1年。人生はすべて道半ばで終わるもの。今年のAJECのいちばんの課題は「バトンタッチ」だ。

会社は、非改訂期であってもコロナも影響して、教育や学校のデジタル化、IT・AI化の波が早まり、仕事が多様化し、編集制作業務だけでなくコンテンツ作成プロダクションとしての仕事が増えた。社員・スタッフも柔軟に対応してくれ、おかげでまあまあ順調にやってこれた。また、社員旅行も3年ぶりに実行した。宿の泊まりは1人1室、宴会なし、バス内を含めてコロナ対策を徹底。「京都の旅-大人の修学旅行」と題して、貴船の川床料理や和紙あ

かりの手づくり体験、伏見稻荷大社、京都の伝統料理「おばんざい懐石」などを楽しんだ。身近な京都だけれど、未知な場所や楽しみはいくらでもある。

個人的には東京行きも月に1回くらい、2年前に比べたら少し増えた。しかし行動範囲は狭くなった。プライベートの旅行も近場中心。浜名湖、鎌倉、西浦温泉、若狭、琵琶湖、金沢(同窓会)、飛騨古川、京都(社員旅行)、湯谷温泉、鳳来寺、三谷温泉、秘湯・三方五湖・虹岳島(こがしま)温泉などに出かけた。

6月の鎌倉は大河ドラマ「鎌倉殿の13人」を欠かさず楽しんできたせいか、いろいろ思い出に残った。街中はたいへんな人手だったが、中心の鶴岡八幡宮を少し離れると、意外と静かで、北条政子と実朝の供養塔も独り占めできるほどだった。2泊3日の旅では主だった史跡はほとんど回れなかったが、京都や奈良とまた違った魅力が鎌倉にある。

飛騨古川も金沢での大学の同窓会のあとに1泊して立ち寄った。専門学校の講師時代、研修旅行で学生たちといちど訪れた場所だ。35年前の話だ。白壁の土蔵ぞいの水路を勢いよく泳ぐ色とりどりの鯉たちに改めて感動した。編集講師稼業17年の思い出の1つだ。

旅はやっぱり良い気分転換になる。思い出はいまはやりのYAMAPというアプリに残した。

さて、今年はどんな年になるか。とりわけ世の中の動きが不安と危機に満ちている。あいかわらず落ち着かない日々が続くだろう。



AJEC忘年会  
(出版クラブ)



社員旅行  
(川床料理)



鎌倉  
(鶴岡八幡宮)



飛騨古川  
(瀬戸川)

企画・執筆・編集・制作  
株式会社 **エディット**  
代表取締役 小林哲夫

<https://www.edit-jp.com>

名古屋 本社	〒451-0046 名古屋市西区牛島町5-2 名駅TKビル6F TEL:052-586-0631(代) FAX:052-586-0632
東京 オフィス	〒162-0822 東京都新宿区下宮比町2-28 飯田橋ハイタウン727号 TEL:03-5225-0981(代) FAX:03-3266-5072
大阪 オフィス	〒541-0041 大阪市中央区北浜3-5-19 淀屋橋ホワイトビル612号 TEL:06-6208-0501(代) FAX:06-6208-0502

(過去の賀状は: <https://www.edit-jp.com/room/nenga.html>にあります)